

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年11月21日(2022.11.21)

【公開番号】特開2022-58873(P2022-58873A)

【公開日】令和4年4月12日(2022.4.12)

【年通号数】公開公報(特許)2022-065

【出願番号】特願2022-15514(P2022-15514)

【国際特許分類】

A 61K 31/437(2006.01)

10

A 61P 11/00(2006.01)

A 61P 29/00(2006.01)

A 61P 37/02(2006.01)

A 61K 47/14(2006.01)

A 61K 47/44(2017.01)

【F I】

A 61K 31/437

A 61P 11/00

A 61P 29/00

20

A 61P 37/02

A 61K 47/14

A 61K 47/44

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月11日(2022.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

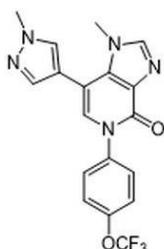
【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

線維性疾患の治療において使用するための化合物Iを含む組成物であって、



(化合物I)

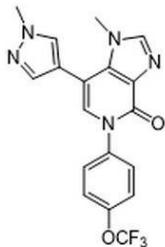
40

前記組成物は経口送達のために製剤化され、前記治療が、治療有効量の化合物Iを対象に提供することと、化合物Iと同時に胃酸低減薬を服用しないように対象に助言することとを含む、組成物。

【請求項2】

線維性疾患の治療において使用するための化合物Iを含む組成物であって、

50

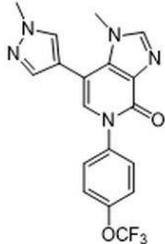


(化合物I)

前記組成物は経口送達のために製剤化され、前記治療が、治療有効量の化合物Iを対象に投与することと、胃酸低減薬の同時投与を避けることとを含む、組成物。 10

【請求項3】

線維性疾患の治療において使用するための化合物Iを含む組成物であって、



(化合物I)

20

前記治療が、胃酸低減薬を必要とする対象に、

(i) 200mg BID;

(ii) 525mg QD; または

(iii) 275mg BID

の用量の化合物Iを投与することと、

胃酸低減薬の同時投与を避けることとを含む、組成物。

【請求項4】

前記胃酸低減薬が、プロトンポンプ阻害薬（PPI）、ヒスタミン2受容体拮抗薬（H2RA）、および制酸薬の群から1つ以上選択される、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用のための組成物。 30

【請求項5】

前記胃酸低減薬がPPIを含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項6】

前記PPIがラベプラゾールを含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項7】

前記治療が、化合物Iの服用前または服用後に胃酸低減薬を服用しないように前記対象に助言することをさらに含む、請求項1～6のいずれか一項に記載の使用のための組成物。 40

【請求項8】

前記治療が、化合物Iを食物と一緒に摂取するように前記対象に助言することをさらに含む、請求項1～7のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項9】

治療される前記対象が、4以下の胃内pHを有する、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項10】

治療される前記対象が、3未満の胃内pHを有する、請求項9に記載の使用のための組 50

成物。

【請求項 1 1】

治療される前記対象が、胃酸低減薬を必要としている、請求項 1～10 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

【請求項 1 2】

前記治療が、1日当たり 1 m g ~ 5 0 0 0 m g の範囲の用量で、化合物 I を前記対象に提供することを含む、請求項 1～11 のいずれか一項に記載の使用のための組成物。

10

20

30

40

50